

筑波大学における 発達障害のある生徒への 高大連携の取り組み

令和2年度「障害学生支援専門テーマ別セミナー」
筑波大学 人間系 准教授／DACセンター協力教員 佐々木銀河
E-mail : sgalaxy@human.tsukuba.ac.jp



発達障害のある学生に対する修学ステージ

就労
(障害者福祉)

就労継続支援 (A型・B型)

就労移行支援

就労 (一般枠, 障害者枠)

特別支援学校
中等部

特別支援学校
高等部

職業能力開発校

専門学校

サポート校

短期大学

中学校
(通常学級, 特別支援学級)

高等学校
(全日制, 定時制, 通信制等)

大学
(通学制, 通信制)

大学院

中等教育
(特別支援教育)

高等専門学校 (高専)

高等教育
(障害学生支援)

大学として、各修学ステージの移行に貢献できることは何か？



高大連携における課題

初等中等教育段階から大学等への移行（進学）

- 文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告（第二次まとめ）」
- 主要課題の1つとして「高大連携」が取り上げられている
 - 高等学校等で提供されてきた支援内容・方法を大学等へ円滑に引き継げるように
 - 高等学校等に対して大学等から支援体制や制度、取組について情報発信を強化
- 特に「高校等が作成している個別の教育支援計画等の支援情報に関する資料等を活用し、教育支援内容の効果的な引継ぎを図ること」
 - ここの部分の難しさ・・・



過去のJASSO専門テーマ別セミナーでの議論

独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）でのセミナー

– 「高大連携」をテーマとしたセミナーを実施

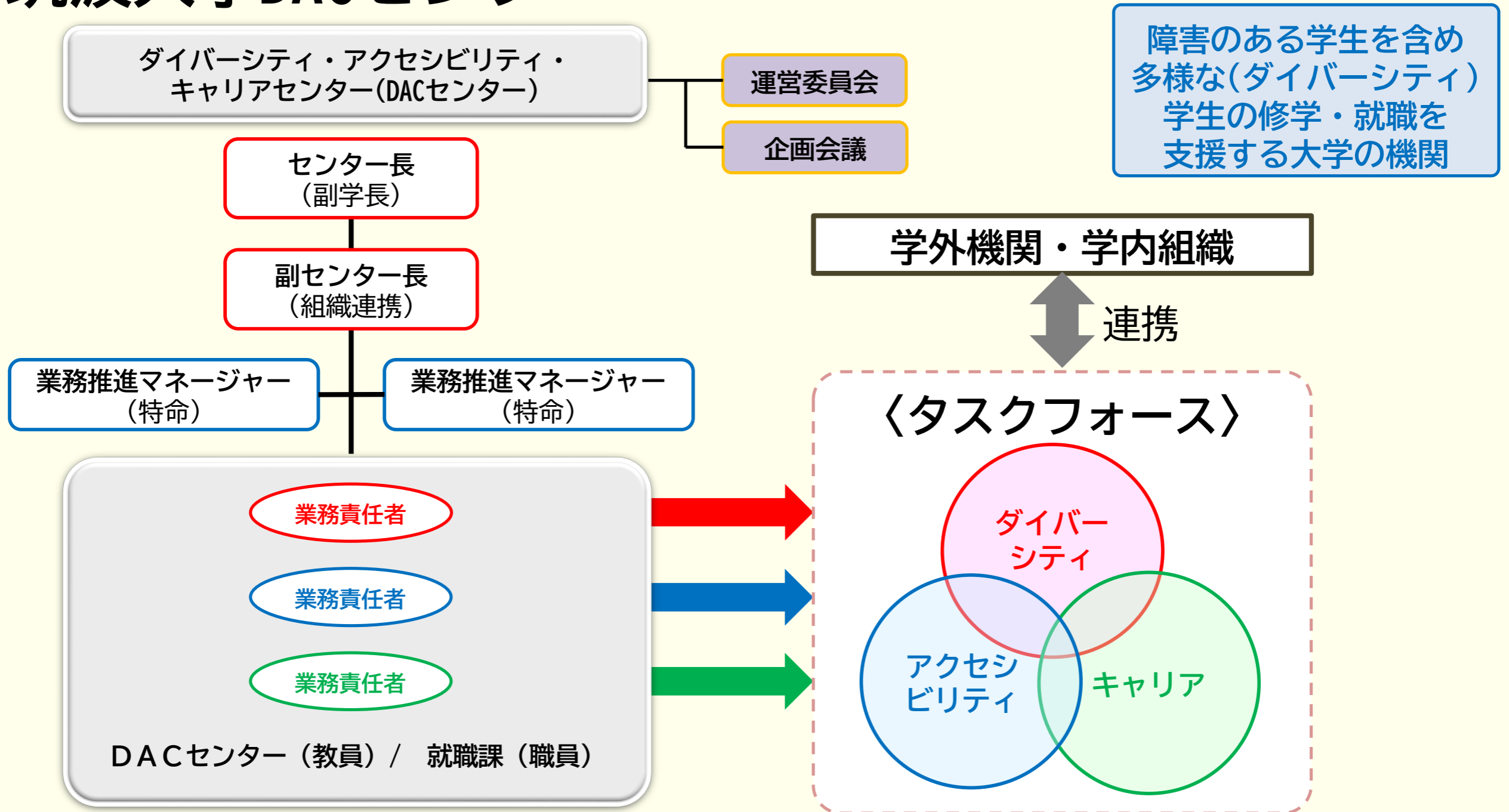
- https://www.jasso.go.jp/gakusei/tokubetsu_shien/event/theme/r1/_ics/Files/afieldfile/2019/08/14/r1_ex1_01.pdf

– セミナー参加者からの問題意識

- 高校側から見て、大学における支援がわからない。支援内容の情報が欲しい
 - 障害のあることを大学入試の際に告知することで、合否判定において不利な取扱をされるのではないかという危惧がある
 - 高校での支援はきめ細かく行っているが、大学の支援は冷たい（高校側意見）
 - 大学では本人の申し出に対して合理的配慮を行う為、入学前までの支援・配慮とは温度差がある。（大学側意見）
- ### – 「個別の教育支援計画」の流れにのらないケースが存在する



筑波大学DACセンター



筑波大学における発達障害のある高校生への支援

受験前

- 本人、保護者、高校教員からの個別相談（メール、電話、対面等で随時対応）
 - 「受験希望学類の選択に関する相談」
 - 「筑波大学受験時・在学中の合理的配慮や修学・就職支援の説明」など
- 大学説明会（オープンキャンパス）での相談コーナー
- **発達障害のある高校生向け大学生1日体験講座の開催**

受験（入試）

- センター試験での合理的配慮の提供
- 筑波大学学群入試での合理的配慮の提供

入学決定後

- 入学前個別相談
- 新入障害学生ガイダンス
- 個別の心理・教育的アセスメント

主として筑波大学の受験を検討する高校生等に対して相談や説明を実施

必ずしも相談対応した生徒が筑波大学に進学するわけではない（個人の感覚的には30%未満）

個別の教育支援計画が大学に引き継がれるケースはほぼない



筑波大学における発達障害のある高校生への支援

大学説明会（オープンキャンパス時）における相談対応

– 8月に行われる大学説明会時に「障害学生支援に関する説明会・相談コーナー」を開催

- DACセンターのスタッフより、障害学生支援の概要を説明
- 発達障害のある高校生には個別の相談コーナーで対応
- 筑波大学受験時・在学中の配慮や支援、進路選択に関する相談



– 大学説明会の参加における合理的配慮の提供

- 資料の拡大、提供
- 抽選のある活動への優先的な参加
- 同伴者の参加許可 など

2020年度はオンラインで実施
発達障害学生支援の概要や
発達障害学生のキャンパス
ライフレポートをYouTubeで配信



入試の合理的配慮

大学入学共通テスト（旧 大学入試センター試験）

– 受験上の配慮案内

- https://www.dnc.ac.jp/kyotsu/shiken_jouhou/R3_hairyo.html

– 発達障害のある受験者が入試で受けられる配慮の例

- 試験時間の延長（1.3倍）
- チェック解答
- 拡大文字問題冊子（14, 22ポイント）の配付
- 注意事項等の文書による伝達
- 別室の設定
- 試験時入口までの付添者の同伴
- その他（耳栓の使用など）

入試での合理的配慮を受けるには
主治医や学校との入念な
やりとり・資料準備が必要

共通テストとは別に
各大学の入試での配慮申請も必要

各大学では障害学生支援部署ではなく、
入試担当部署（入試課等）で
対応することが多い



入学決定後の相談・支援

入学前個別相談・新入障害学生ガイダンス

- 合格決定後、受験時の配慮を受けていた学生についてはDACセンターから個別相談の連絡
 - 本人と保護者が来学しやすい日程を調整
- **入学式前の宿舍入居期間中に「新入障害学生ガイダンス」を開催**
 - 入学予定の学群・学類の先生、1年次必修科目（英語・体育・情報処理など）の先生を交えて、入学後のカリキュラムの説明や在学中の配慮や支援体制について協議
- 協議時には受験時と在学中の配慮内容が変わることも

主に行うこと

- 入学予定の学群・学類の先生方への障害特性の伝達
- 履修計画の作成に関するアドバイス
- 1年次必修科目での履修調整
- 学業・心理・医療的支援体制の調整 など

発達障害学生は
クローズで入学している
例が基本的に多い



個別の心理・教育的アセスメント

理由はわからないけれど、
うまくいかない
ことが多い



怠けている
わけではないのに…



などと悩んでいるみなさんへ

個別の心理・教育的 アセスメントのご案内



筑波大学では、多様な学生が
自身の能力や特性をよりよく理解し、
社会の発展に広く貢献できる
人材の育成を目指しています

筑波大学

ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター(DACセンター)

こんなことで困っていませんか？

スマートフォンや
財布をしばしば
失くしてしまう

やるべきことを
ついつい先延ばしに
してしまう

日々の
生活リズムが
不規則に
なってしまう



やるべきことが
重なると、どれから
手を付けていいか
わからなくな
ってしまう

人と
コミュニケーションを
とることに負担を
感じてしまう

など

このような困りごとは、**自分自身の発達上の特性**と関連していることがあります。
アセスメントを通して、そのような特性と困りごとの関連について考えてみましょう。

アセスメントとは？

DACセンターで、**専門の先生(アセッサー)**による**アセスメント(心理・知能検査)**
を受けることができます。

アセスメントでは、質問紙やアンケートに答えたり、専門の先生からの質問に答え
たり、色々な課題やクイズに取り組むものなどがあります。

アセスメントでは学生の希望により、以下のことが分かります。

自分の**知的能力**
(言葉を使う力、見る力、
記憶する力など)

自分の**発達上の特性**
(自閉スペクトラム症、
注意欠如・多動症の傾向)

※両方を知ることでもできますし、知的能力だけ知ることでもできます。

入学後、発達障害の有無に
かかわらず
自身の能力や特性を
把握するための
「個別の心理・教育的
アセスメント」を実施

修学上で困った時に
「合理的配慮」からスタート
するのではなく、
「自己理解」からスタート

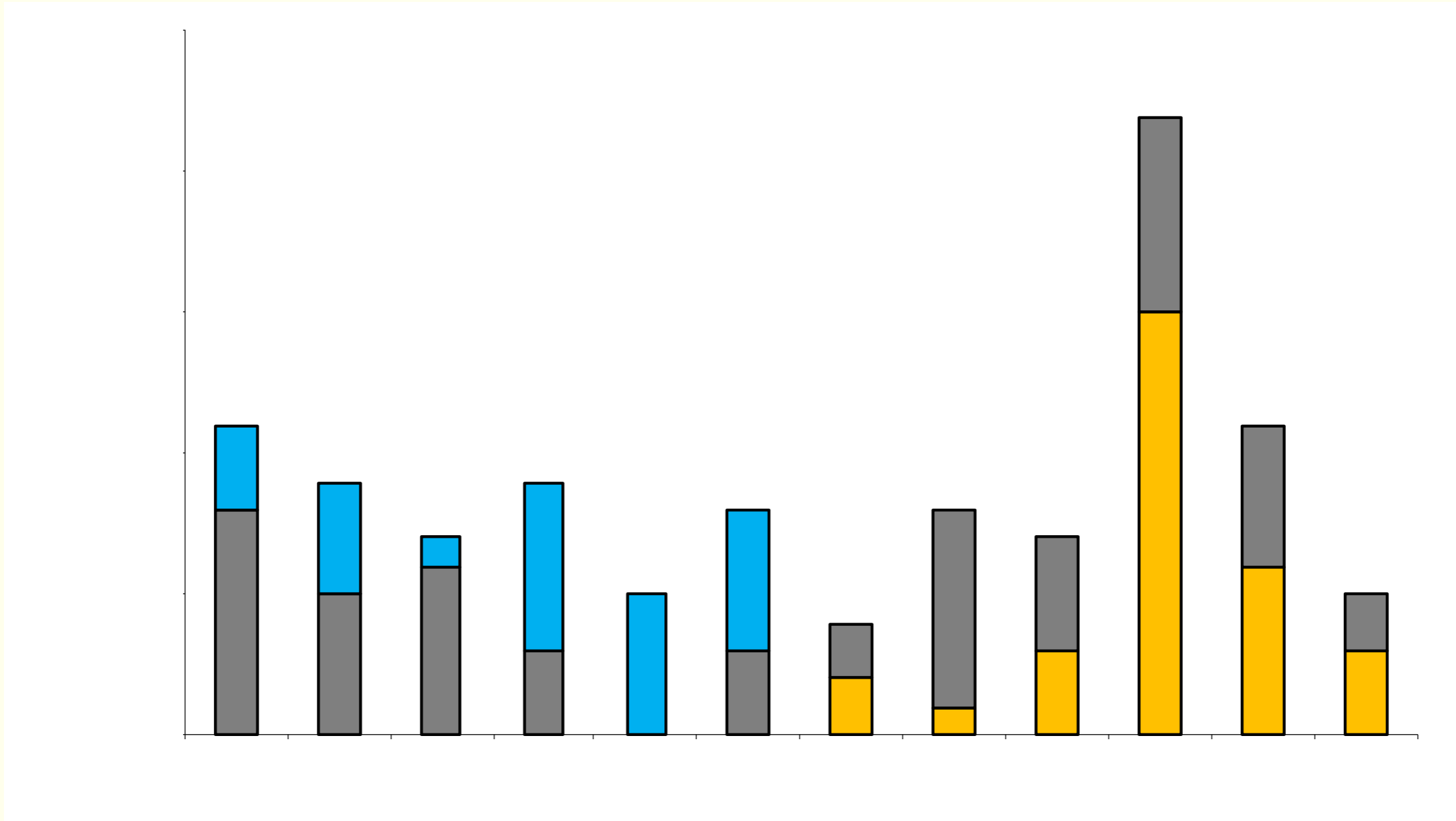


10

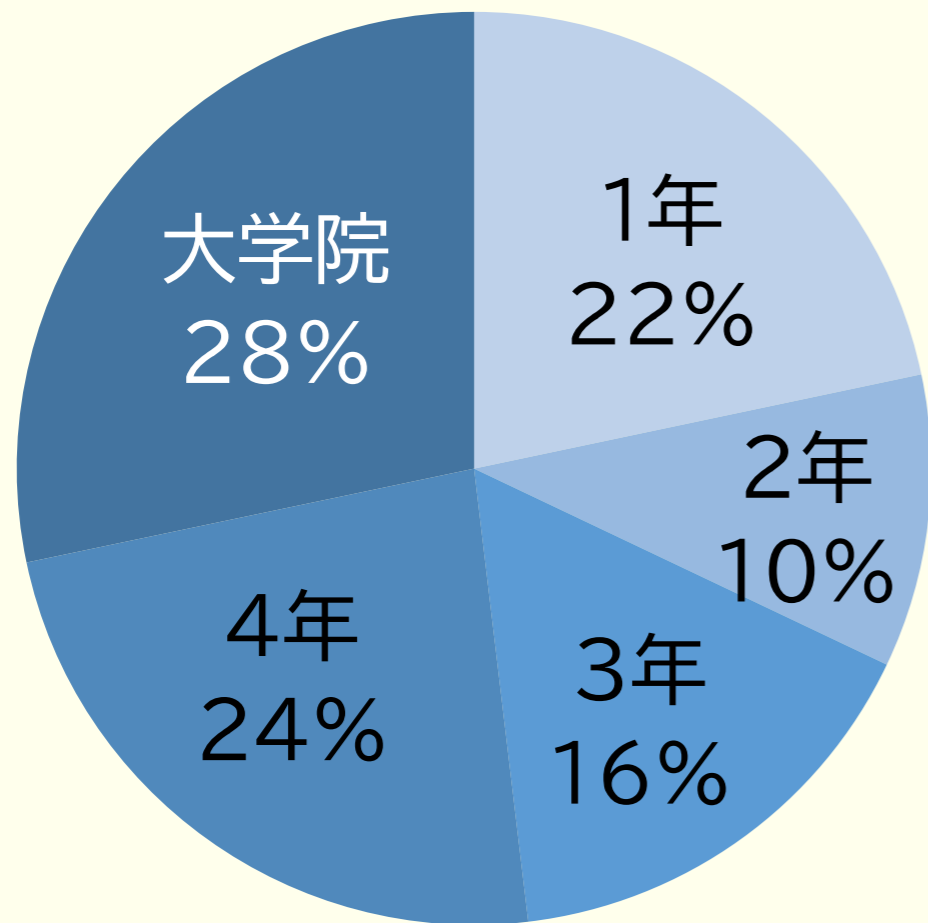


<https://dac.tsukuba.ac.jp/shien/disabilities/developmental-disabilities/assessment/>

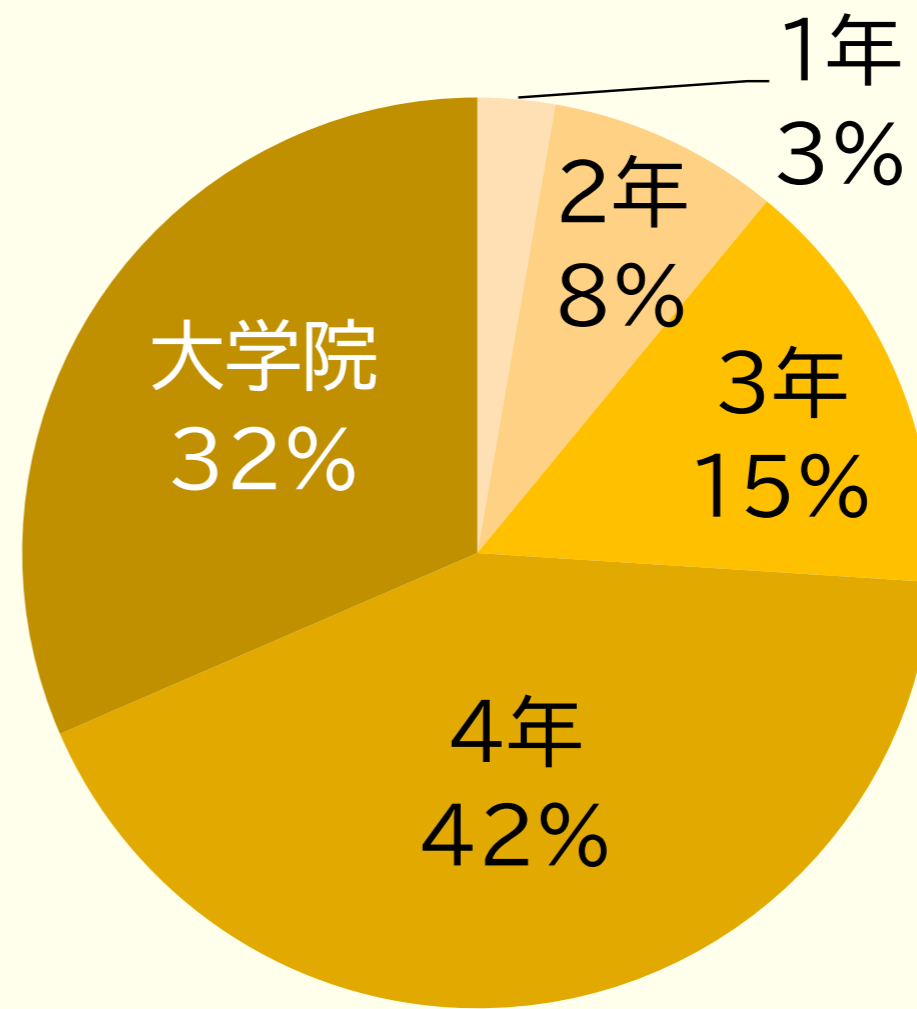
アセスメントの動向（2018年10月～2020年9月）



アセスメントの動向（学年）



アセスメント希望者
(2018年10月～2020年9月)



発達障害 支援利用学生
(2020年5月時点)



発達障害のある高校生向け大学生1日体験講座

高校生



- ★体験講座を通じて、大学生になる自分のイメージを具体化
- ★講座後も使用できるWEBツールを活用して対処法を獲得
- ★本人を中心とした情報連携によるシームレスな高大接続へ

大学進学



プログラム（1日間：10時～15時30分）

1 時限目	模擬授業（発達障害と大学生活） ○講義形式で発達障害のある大学生の様子を知る ○文系・理系など自分に合った時間割を作成する ○ノート・メモを取る練習をする
2 時限目	筑波大生メンターによる大学生活の体験談 ○大学受験・大学生活に関する素朴な疑問を聞く ○併行して保護者への大学での支援体制説明や受験相談を実施
3 時限目	自分の特性を理解・共有するアプリの説明・体験 ○講座後も使用できる「自分の得意・苦手を記録・共有できるアプリ（マイメモ）」の使い方を伝える
4 時限目	大学生になる自分の特性研究 ○自分の得意なことや苦手なことの対処法について、講座後も使用できる「Learning Support Book」を通じて考え、マイメモに登録する

茨城県教育委員会・つくば市の後援
2019年8月と2020年2月に実施

茨城県、東京都、埼玉県、神奈川県から
高校生21名と保護者等25名
（延べ46名）が参加



13



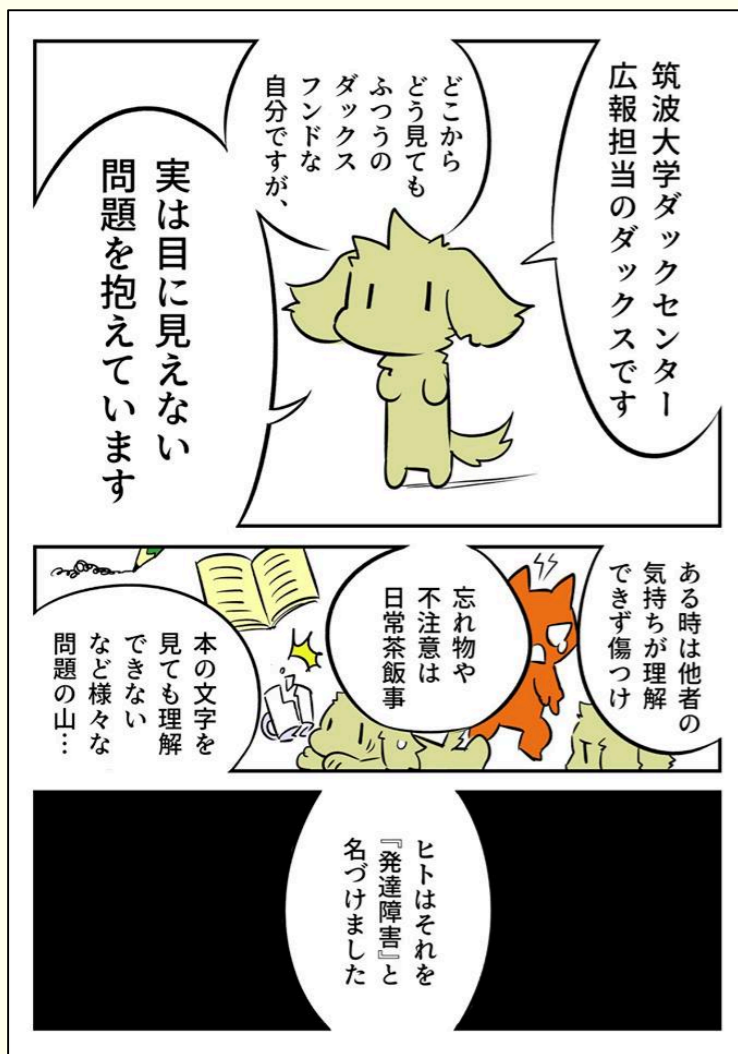
模擬授業「発達障害と大学生活」

大学生になった気分で授業を受け、大学の仕組みを前もって理解する

- 発達障害の大学1年生がどのような生活を送っているかを講義形式で説明
- **模擬講義を受けながら、発達障害学生が特につまづきやすい部分を自己確認**
 - 講義を聞きながらノート・メモを取る
 - 教員からの質問に答える
 - 実際の筑波大学の授業シラバスを用いて、1年次の履修計画を立てる
- **高校生に対して1人ずつ筑波大生メンターを配置**
 - メンターが自身や周りの大学生活についても情報提供
- メンターと「こうやればできそう」を目指す
 - グループワークの少なそうな授業を選ぶ
 - 自分が興味を持てる授業を選ぶ
 - 履修の間に「休憩」を意図的に入れる、など



発達障害啓発マンガ



多くの人に啓発するため、発達障害啓発マンガはCC0 1.0ライセンスを適用
発達障害啓発マンガは自由に複製・印刷・再配布・改変OK！PDF・画像ダウンロード可：

<https://dac.tsukuba.ac.jp/radd/joint-base/manga/>



発達障害当事者・大学生メンターとの交流

発達障害のある人の過ごし方、大学生の過ごし方を直接学ぶ

- 発達障害のある卒業生から、入学のきっかけや大学生活で困ったこと、大学入学前にできると良かったことなどを話題提供
- 高校生とメンターが大学生活について少人数で話す機会を設けた
 - 質問が思い浮かばない人向けのヒントも提示

保護者向けに入試の合理的配慮や大学での支援体制を説明

- DACセンターの障害学生支援担当スタッフによる入試での合理的配慮や大学での支援体制の説明
- **筑波大学への進学を前提とせず、広く大学進学に向けた話題を提供**



学食体験

大学生の気分を味わいながら、メンターと交流

- ペアになっている筑波大生メンターと一緒に大学の学食でランチ
- 学食ならではのメニューの選び方や自分の特性を踏まえた食事や環境の選び方など、大学生になったつもりで体験
- 学食体験後には簡単な学内見学
- ランチを食べながらメンターと会話



17



ICTツールの活用

講座後の大学進学をアシストするICTツールの体験

– 自己理解サポートアプリ「マイメモ」の体験

- メンターと一緒に自分の特性（得意・苦手）や苦手なことへの対処法のアイデアを言語化し、自分の特性を他の人に伝えることについて考える時間
- 得意なことが浮かびにくい際に、どうやったら思い浮かべられるのかヒントを提示
- 高校生が自分の特性を考える（研究する）場

– 対処法は支援情報配信サービス「Learning Support Book」を活用

- 発達障害のある方が実際に行っている工夫や対処法なりの対処法のアイデアを探索



自己理解サポートアプリ「マイメモ」

筑波 学さん

自己管理促進ツールへようこそ!

気づいたことを登録 ✎

気づきの変化をチェック ✓

気づきをまとめて相手に伝えよう 💬

目標を決めて取り組む 😊

気づいたこと登録

気づいたこと ?

例)聞きながら板書するのが苦手

自分の気づきを
スマホ等で記録するメモ

得意・苦手の一覧表にして
自分のことを伝えるための
資料として活用できる

本人が伝えたい人だけを
選択して共有できる

「得意」を
「まあまあできること」
などカスタマイズができる

得手

授業以外

細かいことによく気がつく
わ

不得手

授業中

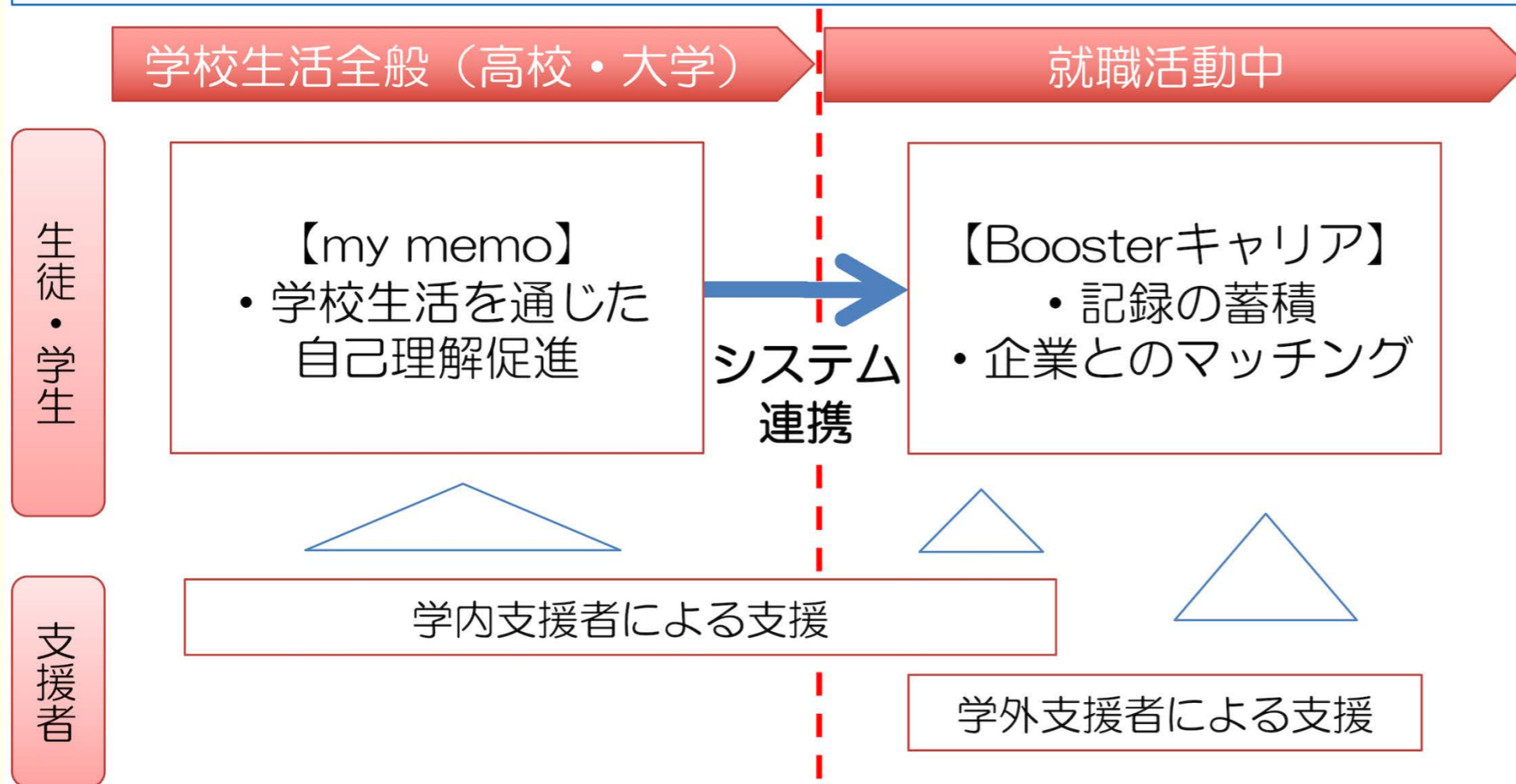
提出物の期限を守るのが苦手
他 3日前に確認をする癖をつける

聞きながら板書するのが苦手
自 講義を録音して後で聞きながら書く



マイメモがつなぐ場を超えた本人中心の情報共有

高校・大学から就職活動までの情報をICTツール連携で一気通貫！



支援の場、人を超えた本人中心の情報共有と引き継ぎ

高校・大学・就職まで
マイメモを活用して
「本人」が作る
自分のための支援計画

合理的配慮の提供に
必要な情報を引き継ぎ
共有する

大学等の垣根を超えて
支援を「つなげる」

科研費 基盤研究 (B) 20H01692
【代表：佐々木銀河】
「ICTツールを用いた多様な発達
特性を有する学生の高校・大学・
就労接続支援」



Learning Support Book

The screenshot shows the website's header with the LSB logo, a language dropdown set to Japanese, and a user profile for 'ようこそゲストさん'. Below the header is a search bar and a category list on the left. The main content area features a video player with a student looking at a tablet, overlaid with the text '使い方はとっても簡単!説明しよう!'. Below the video are social media sharing buttons for Facebook, Twitter, LINE, and a bookmark icon. A '新着ブック' (New Books) section is visible at the bottom, showing a grid of book covers with titles like 'オンライン授業の受け方' and '利用者の方へ'.

【LSBの特徴】

- 発達障害のある方がもつ独自の視点や経験に関する情報を収集
学業や生活に役立つ情報を配信
特に発達障害学生に有効なハイテク・ローテク支援技術 (Assistive Technology) に関する情報を掲載
- “障害”ではなく”ニーズ”表記
「障害」のラベルを基本的に用いないデザイン
医学的診断に抵抗がある学生でもアクセスしやすい
- 大学生のサポーターが作成
学生目線での情報配信が可能



※LSBは他大学等教職員・学生にも共同利用しています
https://dac.tsukuba.ac.jp/shien/disabilities/developmental_disabilities/lsb/

※高校生講座参加者には別途アカウント提供

21



Learning Support Book

オンライン授業の受け方（テクニック編）（16-17/17）

サムネイル 目次 検索 付箋リスト

オンライン授業の受け方 ～テクニック編～

オンライン授業の種類
自分のペースで受講する
チャット機能を活用する
リアクション機能を活用する
生活音や家族への配慮
授業を受けるときのセッティング
プライバシーの保護
適度なストレッチ

困ったとき、だれに相談する？

こんなこと、感じていませんか

- 授業の受講や課題提出のスケジュール管理が大変！課題を出し忘れそう、効率よく、確実なスケジュール管理の方法はないかな？
- オンライン授業になってから課題が増えて、どのように優先順位をつけていいかわからない。
- 卒業研究の計画やスケジュールを大幅に変更した。授業や卒論以外の課題もあり、どのように研究を進めていいかわからない。
- 自宅にいる時間が増えて、家族との関係がうまくいかない。外出を控えているせいか、何となく気持ちが落ち込む。
- オンライン面接などの様式変更や授業との両立で、就職活動をどのように進めていいかわからない。
- 自分や自分の親しい人が、感染症になったら…と思うと不安になる。感染症に関する報道を見ると不安になったり、怒りを感じたりする。
- オンライン授業になってから生活リズムが乱れている。明け方で眠れなかったり、食事のバランスも崩れたりしている。

オンラインで相談することができます

現在、多くの大学ではオンラインで学生生活の相談ができる体制をとっています。筑波大学では、オンライン（もしくは電話）で相談できる場合・部門と、対面で相談できる場合・部門がそれぞれあります。次のページで主な相談先と相談できる内容をまとめています。

こころやからだの疲れは、自分自身では気づきにくい場合もあります。誰かに話したい、自分だけでは解決できなさそう、ちょっと心配なことがある…というときは、いつでも大学の相談室を活用してくださいね。

オンライン授業の受け方 ～テクニック編～

困ったとき、だれに相談する？

筑波大学内で利用できる相談場所

【総合相談窓口】	【学生相談室】
<ul style="list-style-type: none">場所：チューデントプラザ3階、学生生活支援室内及び春日エリア相談内容：学生生活に関することなどどんなことでもOK相談内容によって、どこで支援を受けられるか探してくれます。	<ul style="list-style-type: none">場所：学生会館8棟4階相談内容：学生生活に関することなどどんなことでもOK臨床心理士などの資格を持ったカウンセラーに対応してもらうことができます。
【保健管理センター】	【DACセンター】
<ul style="list-style-type: none">場所：筑波大学南地区、つくば公園通り沿い、CEGLOCそば相談内容：こころやからだの健康に関すること。内科、整形外科、歯科、精神科があります。HP上に掲載された「保健管理センターだより」では、不安な気持ちとの付き合い方や睡眠などについてわかりやすく説明されています。	<ul style="list-style-type: none">相談内容：ダイバーシティでは仕事と生活の両立やLGBTに関すること、キャリアセンターでは就職に関すること、アクセシビリティでは障害のある学生向けの修学相談を受け付けています。学生生活をサポートする物品の貸し出しや、授業での合理的配慮の申請についての相談も可能です。

各相談場所のオンライン・対面相談の実施状況は、参考URLからHPを確認してください。もちろんこれらの部署以外に、指導教員や担任の先生に相談してもOKです！

参考URL

- 総合相談窓口 <https://www.tsukuba.ac.jp/campuslife/studentplaza.html>
- 学生相談室 <https://www.tsukuba.ac.jp/campuslife/sodan.html>
- 保健管理センター <https://www.hokekan.tsukuba.ac.jp/>
- DACセンター <http://dac.tsukuba.ac.jp/>
- COVID-19に関するこころのケア <https://plaza.umin.ac.jp/~dp2012/covid19.html#1>

ノート・メモの取り方
忘れ物を防ぐ方法
試験勉強の対策など

最近
「オンライン授業の受け方」
も掲載

自分の苦手な部分を
補うための工夫について
情報を収集する

使えそうなものは
マイメモの「対処法」に
自分で反映する



参加した高校生からの声



“大学生のような感じがした”

“授業の形式や単位についてなど初めて知ることが多かった”

“障害を持った人の生き方を知れた”

“学校での困りごとを共有する機会がなかったので新しい発見もできた”

“話としてとても興味深かった。大学生の生活が分かったり、大学の研究についても良い話が聞けた。理解してくれる人がいることも分かった”

“全てのアプリが良いと思った”

“これがあると便利だと思うものばかりだった”

“自分のことを理解する良い機会だった”

“特性がどちらに転ぶのか自分次第で変わるということを知った”



参加した保護者、大学生メンターからの声

“講義内で授業カリキュラムを作成するシミュレーションがイメージで分かったので良かった”

“大学生になった時の細かな対処法が今から知れて安心した”

“受験時の合理的配慮についてもっと調べたいと思った”

“メンターさんとの相性がよかったようで、とても楽しそうで大学生活や特性との共生について前向きに考えられたと思う”



保護者

“活発にコミュニケーションがとれた”
“高校生と深い会話ができよかった”



大学生メンター



講座後のつながりとフォローアップ

講座後のICTツールの使用

– 約43%の高校生が講座後もICTツールを使用

- 高校生自身の日々のメモとして打ち込む、など
- 今後の参考にLSBを参照する
- 高校の担任と共有

– 継続的な活用には本人以外の関係者も巻き込む必要がある

講座後の大学とのつながり

– 講座をきっかけとして保護者や本人からの相談に対応

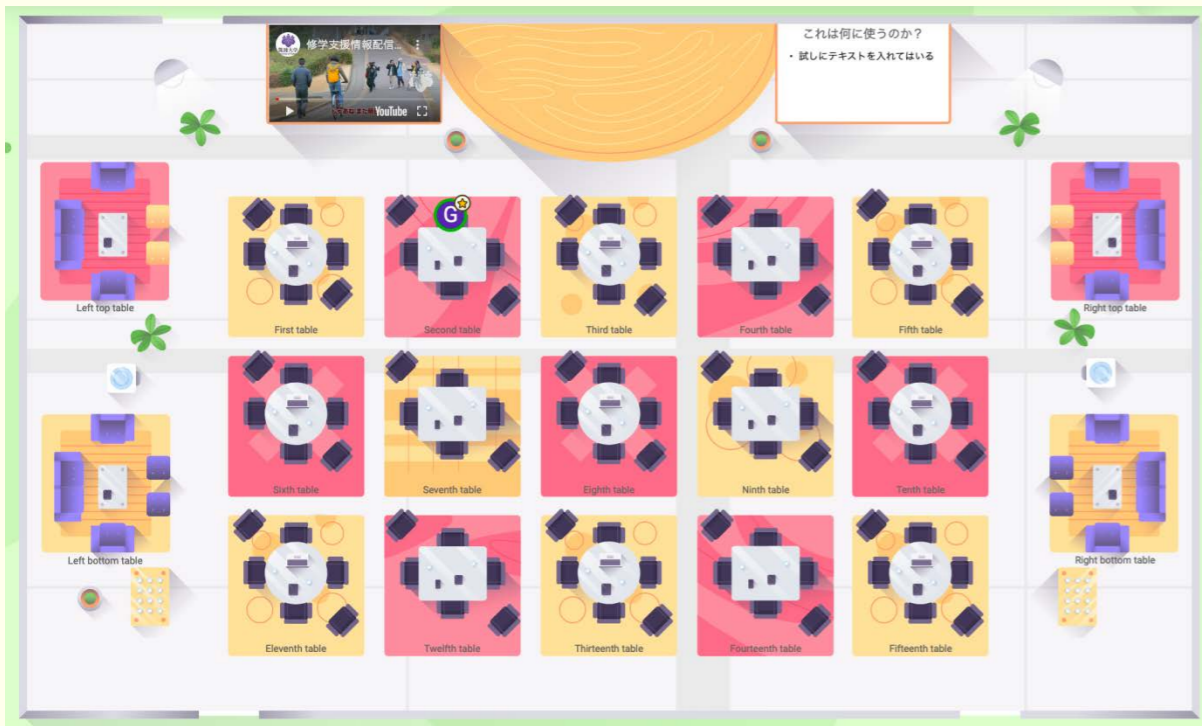
- 入試での配慮申請に向けた準備で困った時に相談



今年度はオンラインで行います

2020年11月15日（日）

- Web会議システム「Remo(リモ)」を用いたオンライン講座
- 全国どこからでも参加可能



「大学に進む」という選択肢

発達障害のある高校生向け
大学生1日体験講座

日程 **2020.11.15日**
9:30~14:00

場所
オンライン (Remo)
※オンラインなので自宅等から参加できます

対象
大学進学を希望する発達障害のある高校生(学年不問)
※保護者の方もご参加いただけます
※志望する大学はどの大学でもOK

定員 10名
参加費 無料

プログラム

- 模擬授業
- 発達障害当事者の大学生生活体験談
- 筑波大生メンターとの交流
- 大学生になる自分の特性研究
- 個別相談会(希望者のみ)

●主催
筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター

●後援
茨城県教育委員会(申請中)
つくば市(申請中)

大学生になる自分を研究しよう!

定員10名のため
お早めにお申し込みを!

https://jp.surveymonkey.com/r/2020_fall_college



マイメモ大学トライアル（研究事業）

筑波大学が実施すること	各大学にお願いすること
<ul style="list-style-type: none"> ●マイメモ導入のご説明 <ul style="list-style-type: none"> ・各大学にご訪問して、マイメモの主な機能や導入イメージをご説明します（15分～） 	
<ul style="list-style-type: none"> ●学生周知用のチラシの作成 <ul style="list-style-type: none"> ・お持ちしたサンプルのイメージで学生周知用のチラシ等を作成致します 	<ul style="list-style-type: none"> ●学内での調整 <ul style="list-style-type: none"> ・マイメモの導入の可否についてご検討ください ・スモールスタートでOKです
<ul style="list-style-type: none"> ●講座実施日の日程調整 <ul style="list-style-type: none"> ・参加される学生さん、筑波大のスタッフ、各大学の担当者の方の日程を調整します 	<ul style="list-style-type: none"> ●参加学生の募集・会場の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・学生の募集、会場の確保をお願い致します ・発達障害の医学的診断の有無は問いませんが、相談部署に繋がっている方が望ましいです ・学生の人数は1名～でも対応検討します
<ul style="list-style-type: none"> ●マイメモ講座の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・筑波大学から各大学に講師を派遣します ・1時間30分～2時間程度で1回で終わります ・講座実施後に取得したデータの研究利用に関する依頼を行います。研究に協力しなくてもマイメモは他の参加者と同様に利用できます ・研究協力者は講座後の遠隔フォローも行います 	<div data-bbox="1606 1086 2208 1278" style="border: 1px solid blue; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p style="color: blue; font-size: 1.2em; margin: 0;">佐々木まで ご相談ください</p> </div>
	<ul style="list-style-type: none"> ●マイメモの使用 <ul style="list-style-type: none"> ・各学生がマイメモを使用して、サポーターは気づきへのコメントをお願いします



まとめ

入学前後期への支援のあり方

- 大学等で行っている支援や体制は、なるべく公開する
 - 大学の支援内容や体制が「外に見えるように」
 - 大学生活を入学前に体験してみて、自分の特性とからめる機会を
 - 特にWEBサイトの情報は重要
- 入試担当部局との連携して、公平な試験に
 - 入試での合理的配慮が適切に行われているか、必要な情報提供を
- 入学してから「困った」後、どうすべきかのルートを学生側に見えるようにしておく
 - フレッシュマンセミナー、1年次科目の活用
 - 相談しやすい窓口、相談形態の用意



ご清聴ありがとうございました

